

# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

JCI Junior Chamber International OKAYAMA

## 2019 Vol.4

01. 地域づくり、まちづくりから日本を変えていく
05. 2019年度 活動報告
07. 2019年度 理事長総括
09. 岡山青年会議所のアツいメンバーたち
10. メンバーオススメの飲食店

特別対談

地域づくり、まちづくりから日本を変えていく

古市 聖一郎

公益社団法人岡山青年会議所 第69代理事長



福武 総一郎

ベネッセホールディングス名誉顧問・公益財団法人福武財団理事長





てから感じられたことなのですか。

**福武** そうだね。岡山というよりも、この国全体に言えることだと思っけどね。ニュージーランドは食糧自給率が300%、エネルギー自給率も100%に近い。消費税は15%なんだけど、必要以上にモノを買わなくても生活ができ、経済が回るようになっている。日本では皆も知っているように、減反政策で米を作らなかつたら補助金が出るという政策をずっと続けてきたでしょう。でもこれはおかしいこと。食料とエネルギーは、一昔前だったら高度成長期でもあったし、外国から購入できていたけど、現在では状況が変わってしまったている。そうい



う事実を客観的に見て、なぜ危機感を持たないのかと思うね。

岡山の話に戻すけど、どんどん郊外にまちが拡散していつていてるでしょう。都市計画書の「人と緑の都心1kmスクエア構想」を作った当時から、こんなことをしていたらダメだと言いつててるんだけどね。

**古市** 「人と緑の都心1kmスクエア構想」は今でも実現したら素晴らしい構想だと思います。これから岡山のまちをより良くしていくための、良い方法はないですかね。

**福武** 今も商工会議所で読むことができますと思うけど「人と緑の都心1kmスクエア構想」を作った当時から、「都心は人が集まり住むところ」ということをずっと言い続けてるんだよ。要するに都心の1kmスクエア圏内に、人を集めて住ませることで様々な商業施設や、保育園、病院ができる。今というコンパクトシティだよ。

そして路面電車を環状化して、そのなかに多様な都市機能を集積させて、公共交通や徒歩圏内だけで暮らせる岡山のまちをつくる。こうした構想も会社経営と一緒に、すべて危機感から。全部が一緒に良くなるわけないんだから、どうすればまちが良くなるのかを考えたんですよ。

# 古市聖一郎

公益社団法人  
岡山青年会議所  
理事長

特別対談  
SPECIAL TALK

## 地域づくり、まちづくりから 日本を変えていく

ベネッセホールディングス名誉顧問・公益財団法人福武財団理事長の福武総一郎氏に、岡山のまちづくり、そして岡山青年会議所が持つべき夢やビジョンについて語っていただきました。

# 福武総一郎

株式会社  
ベネッセホールディングス  
名誉顧問  
公益財団法人  
福武財団理事長



**古市** そうしたコンパクトシティの構想も、岡山で少しずつ形になりつつあるようですが、実現するためには様々なハードルがあるみたいですからね。

**福武** ハードルなんてありつこないよ。実際、直島のプロジェクトを始めた当初から直島や瀬戸内海の島々を世界有数の場所にしてやろう、という夢を持って、それを現実してきたからね。

やっぱり小さな夢だったら、小さなものしか実現できないですよ。だから岡山青年会議所も、岡山のまちづくりビジョンを考えてみたいと思うよ。もちろんすぐには実現できないから、30年くらいの長期ビジョンを計画して、

**古市聖一郎（以下、古市）** 「瀬戸内国際芸術祭」も第4回の開催となりましたが、様々なアートプロジェクトが実った結果、ニューヨーク・タイムズが発表している「2019年に行くべき52ヶ所」のランキングで瀬戸内海の島々が7位に選ばれていましたね。

**福武総一郎（以下、福武）** これは自慢みたいになってしまっけど、最初は1人のプロデューサーと一企業が始めたことだからね。直島をはじめ瀬戸内海の島々も、今は多くの人が訪れる場所になりましたが、昔は亜硫酸ガスを排出する銅製錬所が作られたり、産業廃棄物の不法投棄の問題があったりね。そうした場所が世界有数の観光地になったんだから、岡山なんて可能性がいっぱいあると思うよ。

**古市** 可能性として挙げられるとしたらどういった部分でしょうか。

**福武** すべてだと思っね。食べ物も美味しいし、気候も温暖で、交通の結節点でもある。昔から岡山には可能性があるって言い続けてるのだけど、危機感を持っていないのか誰も動こうとしないよね。

**古市** そうした危機感というのは、ニュージーランドに住まれるようになって



写真:JIN FUKUDA

### ARTSETOUCHI

「ARTSETOUCHI」は、3年ごとに開催される「瀬戸内国際芸術祭」とその間に取り組まれるアートを通して地域の活力を取り戻し、再生を目指す活動の総称です。



代が変わってもその構想を受け継いでいけば良いんだよ。今の岡山青年会議所の良いところはそういうところだと思われ、代を積み重ねていって構想を実現していくことが、楽しみにしたら良いんじゃないかな。

**古市** お話を聞いていて、やっぱり自分たちは「ここまでしかできない」という限界を作ってしまったているのかも無理じゃないですね。

**福武** 「俺たちが日本を救うんだ！」という気概がないとダメなんだよ。やっぱり自分たちのような一市民でも、日本を良くしたいと思うじゃない。日本を救うためには地方が元気に



的なまちになってると思うよ。

**古市** ちなみに福武さんから見て『うらじゃ』はどのように映っていますか。

**福武** 『うらじゃ』はウチの社員もいっぱい参加しているし、応援しているよ。どんだん岡山を賑やかにしてもらえば良いんじゃないかな。でもこうしたお祭りは、市民の力を集約するためには非常に重要だけど、お祭りだけで終わってしまうとダメだよ。

直島も自分たちだけでやったんじゃないで、島の人たちがしっかり協力をしてくれたんだ。だけどそういう



ならないといけないし、岡山が世界に冠たる都市になるような構想を練らないとダメなんじゃないかな。日本のどのまちに行ってみても、中心市街地にシャッター通りがあることが多いけど、地方都市にとってはそこが『そ』みたいなものなんだから、寂れてしまつてはまちの魅力がなくなることはわかるじゃない。

日本を良くするためには、地域が持っている個性や魅力を生かしていくことが大切なんだよ。だから直島は地方を良くするためのモデルケースなんだよ。そうしていたら、1人のプロデューサーと一企業が始めたことが、ここまでできたわけ。地方から魅力を発信していけば、東京ばかりに人や関心が集中することはない。

これは講演でもよく言っていることだけど、東京ばかり元気になるって日本は絶対に良くならないよ。だから来年の東京オリンピックにしても、地方には何の恩恵もないじゃない。マラソンと競歩は札幌に決まって良かったと思ってるよ(笑)。でもラグビーワールドカップは、釜石であったり、福岡であったり地方でやってたよね。サッカーにしてもそうじゃない。だから何度も言っているように地方が良くなると日本が良くなるといいんだよ。

**古市** お話を聞いていて、描いていく

ことは十年ぐらいかかること。そして市民からの協力を得るためには、時間をかけてまちづくりのビジョンを理解してもらい必要がある。岡山は本当に可能性のあるまちだと思うんだけどね。

**古市** 岡山青年会議所は40歳までしか所属できない団体なのですが、振り返ってみて福武さんが私たちの年代だった時にこれをしてあげばよかった、ということはありませんか。

**福武** 言うことがあるとすれば、岡山だけだったら絶対に大成しないということ。それから人と同じことをやっているだけではダメということだね。

私が東京から岡山に帰ってきたのは40歳の時。最初は刺激がなくて、面白くないまちだと思っていたけど、瀬戸内海に行ってみて、「こんなに綺麗な場所があったのか」と、考え方が変わったね。その当時、友人からゴルフに誘われたけど、そういう誰でもできることではなくて、岡山や瀬戸内海でしかできないことをやろうと思った。だから若い時から週末になると、直島に行ったり、ヨットを始めたり、60歳になってヘリコプターの免許を取ったしね。



写真:Abe Akihito

夢のスケールは大きくなければならないということを実感します。

**福武** 瀬戸内国際芸術祭を始める前、当時香川県知事だった真鍋さんに話したのは、私の構想を実現したことが出来るぞと。今見てみたら、瀬戸内海の制海権を握っているのは広島や神戸、松山ではなくて香川県になってるでしょう。

だから昔から岡山は瀬戸内海を取り込まないとダメだと言いつつ続けたのだけど、香川県はそれをうまくやっただよ。そうするとみんなが高松に来るようになって、丸亀町商店街も再生することで盛り上がりつつあるし、魅力

**古市** 最後になりますが座右の銘を教えてくださいませんか。

**福武** これは相場師の格言なのだけど、「人の行く裏に道あり花の山」。要するに人と同じことをしていること。桜がたくさん咲いていて人通りの多いところばかりではなく、ひっそりと咲いている桜も健気で綺麗でしょ。

だから私はテレビも見ないし、何処でもできることや、流行には全然興味がない。何か人と違うことをやらないと、並の人間で終わってしまうよ。



## 地域文化の魅力や個性を生かし 世界に発信していく

Souichiro Fukutake **福武総一郎**

昭和20年生まれ。公益財団法人福武財団理事長、瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー、株式会社ベネッセホールディングス名誉顧問。早稲田大学理工学部卒業後、昭和48年、福武書店(現ベネッセホールディングス)入社。昭和61年、代表取締役社長、平成19年に代表取締役会長兼CEO、平成26年より最高顧問、平成28年10月より現職。香川県・直島、豊島、岡山県・犬島を自然とアートで活性化するプロジェクト(ベネッセアートサイト直島)を30年以上にわたって指揮。文部科学大臣表彰(芸術選奨)他多数受賞。



## 描いていく夢のスケールは 大きくなければならない

古市聖一郎 Seichiro Furuichi

昭和54年生まれ。平成15年、日本大学商学部卒業後、株式会社トミヤコーポレーションに入社。平成22年同社代表取締役社長に就任し、現在に至る。平成26年、公益財団法人岡山青年会議所に入会し、平成29年リソース向上委員会理事委員長、平成30年専務理事を歴任し、平成31年より理事長。座右の銘は「道徳なき経済は罪悪であり 経済なき道徳は虚言である。」





# 2019 ACTIVITY REPORT

2019年度 活動報告



## 市民の皆様とともに学びの機会を得る 市民公開例会を開催。

2019年10月1日(火)、イオンモール岡山のおかやま未来ホールにて、「公益社団法人岡山青年会議所10月例会 市民公開例会」を開催いたしました。市民公開例会とは多くの市民の皆様への知的好奇心にお応えする目的で開催している例会で、過去にも著名人を招き開催をしている大変人気の高い事業です。今回は西野亮廣氏をお招きし「これからの生き方～夢の叶え方～」と題し講演会形式で実施いたしました。チケットは大好評のうちに完売し、講演会当日は満席で開催することができました。絵本作家でもあり、またクラウドファンディングやオンラインサロンでの実績など幅広い活躍を見せている西野氏の講演では、これからの時代の生き方や挑戦することの重要性など、非常に数多くのヒントを学ぶことができました。



## 10月例会 市民公開例会 「西野亮廣氏講演会」



## 月見橋バージョンアップ プロジェクト

## 後樂園と岡山城を結ぶ 「月見橋」について思いを馳せる プロジェクト。

1954年に開催された岡山産業観光博覧会にあわせて完成された「月見橋」。後樂園と岡山城を結ぶ橋として多くの方に利用されていますが、景観と調和していないという声を受け、2019年9月14日(土)に開催された本事業では、県内の生徒・学生から月見橋の新デザインを公募しコンペを開催。当日はプレゼン大会及び表彰式を実施いたしました。その後、石山公園にて「岡山お月見夜市」を開催。コンペの一次審査通過作品をプロジェクションマッピングで投影したり、人気イベント「満月BAR」に協力をいただき飲食屋台を出店させたり、岡山市民の皆様と月見橋について考えるきっかけとなる事業を目指した結果、当日は1,600名の方にご来場をいただき盛況に事業を開催することができました。



## 理事長公職

岡山青年会議所が2018年度に手がけた、旭川に浮かぶボートを桃型にしてしまうというプロジェクト「どんぶらこプロジェクト」。1回乗船ごとに100円が西日本豪雨災害義援金として支援される仕組みになっていますが、これまでにいただいた義援金を岡山県庁に贈呈させていただきました。そのほか、「マーチング・イン・オカヤマ」への出席や「おかやま桃太郎まつり MOMOTAROH FANTASY点灯式」への出席など多くの理事長公職に取り組みさせていただいております。いずれも岡山青年会議所が生み出した事業が現在も継続的に開催されているものであり、そのことを誇りに感じるとともに、これからもおかやまのまちを元気にする事業に創造していきたいと思っております。





## Excite OKAYAMA, Excite BMX! (BMXの聖地おかやま体感事業)

### PR動画と体験事業で「BMXのまち おかやま」を発信!

当事業は、日本国内はもとより世界にも波及する可能性を秘めたスポーツ団体と連携した事業を実施することで、岡山から世界に発信できる可能性を秘めた団体が岡山に存在するのを知ってもらい、おかやまのまちをブランディングすることを目的に実施いたしました。制作したPR動画は再生回数21万回を超え、拡散を続けております。旧岡山市立内山下小学校で実施した体験事業は不安定な天候ではありましたが、1,500名を超える来場で盛況のうちに終了しました。



## ビジネスセミナー

### 会員の成長と市民参加を目的とした公開セミナー。

株式会社ストライブインターナショナル代表取締役の石川康晴社長と岡山青年会議所の古市理事長とのトーク形式でのセミナーを開催させていただきました。以前より交友関係にあったお二人が、「企業の成長と地域貢献」をテーマに楽しくも興味深いトークを展開しました。その後は、現役メンバーと一般参加者との繋がりも生まれ、岡山青年会議所を周知することにもつながりました。



岡山青年会議所が2019年度に予定していた対外事業もすべて無事に終了することができました。これも偏に、平素より岡山青年会議所をご支援いただいております皆様のおかげだと、感謝の言葉しかありません。

今年度はスローガンとして「Excite! okayama」を掲げ、若者ならではの発想で、若者にしかできない、岡山の皆様にとってインパクトのある、かつわくわくする事業を展開するべく活動を行ってまいりました。恒例となった「うらじゃ」や「キッズビジネスパーク」はもとより、今話題のBMXに関連する事業や月見橋パージョンアッププロジェクトなど、これまでにない事業にも挑戦できたのではと考えております。それ以外にも、清掃活動への参加や講演会の開催など、1年間を通じて展開してきた数多くの事業・運動をここで振り返らせていただきます。

青年会議所の活動は「池に小石を投げ続ける活動」だと考えております。我々の事業だけで市民の皆様が好影響を与えることができれば最良ではありますが、なかなかそういうわけにはいきません。我々は小石を投げ続けることで池に波紋を生み続け、市民の皆様が郷土おかやまのことを考えていただく「きっかけづくり」ができればと考えております。

私の第69代理事長としての職務は2019年12月31日をもって終了いたしますが、2020年1月からは岡山青年会議所が70周年を迎える大事な1年がスタートいたします。今後も行政の皆様、企業の皆様、そして市民の皆様と協力・連携し活動できればと考えておりますので、ご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

### | 2019年度 理事長総括 |

若者ならではの発想で取り組んだ、  
郷土おかやまを「わくわく」させる事業・運動が  
展開できたことに感謝申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 第69代理事長

古市 聖一郎



## キッズビジネスパーク2019

〈もっとおかやまが好きになる〉

### 未来を担う子ども達が岡山に夢と誇りを持ってもらえる事業を。

今回で6回目を迎えた本事業は、岡山ふれあいセンターにて一般社団法人カンコー教育ソリューション研究協議会と連携し開催させていただきました。参加児童数460名、総来場者数1,300名、出展ブース数45ブース、ボランティア数103名と、多くの市民と地元企業、学校、行政を巻き込んで、「地域の未来を担う子ども達がまちに夢と誇りを持つこと」を目的に事業を実施させていただきました。無事に事業を終えることができました。



## 第26回うらじゃ2019 こころ晴れ晴れおかやま魂『躍』

### 岡山最大の祭「うらじゃ」を裏方としてサポート!

8月3日・4日の2日間で開催された今年の「うらじゃ」は118連と多数の踊り連にご参加いただき盛大に開催されました。「温羅化粧(うらげしょう)」と華やかな衣装に身を纏った踊り子が岡山市内各所で華麗な演舞を披露してくださいました。毎年恒例となった「総踊り」は一般市民を巻き込んで開催され、フィナーレにふさわしい盛り上がりを見せました。岡山青年会議所はうらじゃ事務局の対応を中心に、演舞場の運営、一般市民の皆様への温羅化粧のサービスなどでサポートさせていただきました。岡山最大の祭「うらじゃ」に関わることを誇りに思い、岡山青年会議所は今後も「うらじゃ」を支えていきます。



# My Favorite Restaurant

| メンバーオススメの飲食店 |



## 鮮寿

自分たちの目で見て触って確かめ納得したものしか仕入れない。  
創業以来守り続けてきた市場からの直接仕入れを続けている「鮮寿」。  
食文化を通じお客様に心からの感動を与え続けることで地域社会へ  
貢献することを掲げられるお店ならではのこだわりです。



◎岡山市北区野田屋町1-6-15  
◎営業時間: 11:00~15:00(L.O. 14:00)  
17:00~22:00(L.O. 21:30)  
◎定休日: 無休(年末年始を除く)  
◎TEL: 086-233-3110

「落ち着いた空間で楽しめるお寿司と絶品の味噌汁!」



飛鳥グループ協同組合  
社長室長  
妹尾 愛希

鮮寿さんは岡山青年会議所の方に紹介していただいたお店なのですが、お寿司はもちろん味噌汁が絶品で、僕も味噌汁を目的にお伺いすると言っても過言ではありません(笑)。ランチはお寿司・味噌汁・デザートがセットになっており、男性はもちろん女性にも満足いただけるランチではないでしょうか。落ち着いた雰囲気の内装、カウンターやテーブル、個室もあるので昼夜問わず様々な用途でご利用いただけるお店だと思います。



# JCI OKAYAMA MEMBERS

| 岡山青年会議所のアツいメンバーたち |

JCI OKAYAMA MEMBERS 02



Toshimasa Hata

大和被服株式会社 生産事業部 部長

## 畑 利昌

会社設立年: 昭和24年

業種: 縫製業

会社理念  
共存共栄

JC入会のきっかけ

会社を継ぐことを決め岡山に帰ってきて5年、仕事にも慣れ、日常の変化が必要だと感じていた折に、先に岡山JCへ入会していた親戚から誘われたのがきっかけです。そこからJC主催のセミナーに参加し、同世代の方が大勢の前に話をする姿に強烈な衝撃を受けました。縫製業の私はJCに入会して仕事への直接的なメリットはないかもしれませんが、同世代の同じような立場の方々と知り合える機会は、必ず将来への投資になると考え、入会を決意しました。

JCI OKAYAMA MEMBERS 01



Kazuhisa Yamahata

株式会社エイトヴィジョン 代表取締役

## 山畑 和久

会社設立年: 平成30年

業種: 映像制作

会社理念

社会へ貢献し循環できるサービスの追求

JC入会のきっかけ

入会前は、多くの異業種の方々との交流でできれば良いな、と軽く考えて入会したのですが、私にとってはショックの連続でした。青年会議所というのは礼儀礼節を本気で学ぶ場であり、規律や時間の拘束、メンバーから本気で怒られる事など、入会する以前では考えてもいなかった日々の連続でした。しかし、本気で向き合えば、誰も私と本気で付き合ってくれないという、当たり前で基本的な事ですが、とても大切な事を学ばせていただいていることを日々実感しています。

## 新規メンバー 募集中

年齢・資格  
募集期間  
入会に際して必要なもの

公益社団法人岡山青年会議所  
事務局

私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

満20歳以上39歳以下の品格のある男女  
随時募集しております。詳しくは下記事務局までお電話にてご連絡ください。  
◎入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)◎履歴書◎入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)  
◎入会承諾書 ◎作文 題目「岡山JC入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと※700字以上  
◎会社謄本※資格のみで正業に従事する場合は、資格証の写し ◎本人の住民票  
◎写真※縦4cm横3cm4枚(うち一枚は履歴書に貼付)※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は令和2年  
1月発行予定です。

発行日 令和元年12月  
発行 公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com  
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所  
岡山JCブランディング委員会  
委員長: 綾部 健二郎  
青山 雅史・加藤 高明・津島 周史・大北 大士郎・蒲原 智樹  
妹尾 愛希・武元 浩・永山 栄一・野田 龍太郎・馬場 紀行